

認知症臨床プログラム

医療法人 山容会

山容病院

プログラム概要

- ☑ BPSD についてほとんどすべてのパターンを経験することができる
- ☑ 外部との連携について極めて豊富な経験を積むことができる
- ☑ 初期診断から身体疾患、看取りまで幅広く関わることで認知症に対して苦手分野をなくす
- ☑ 高度医療についてヘルスケアネットにより経験できる

プログラム詳細

- 1 アウトリーチ
- 2 初期診断
- 3 BPSD 治療
- 4 身体疾患の治療
- 5 認知症治療病棟
- 6 新施設の立ち上げ
- 7 併存する精神疾患を含めた治療戦略の立案
- 8 総合病院に赴いての診療

精神科医だけでなく、認知症臨床を学びたい医師を広く対象としています

① アウトリーチ

研修医には患者様の自宅まで訪問していただきます。

- ④ 当院では認知症初期集中支援チームを現場に派遣しており、その実績は県内トップレベルです。
- ④ 院長は認知症サポート医として地域医師の相談を受け、平成 28 年度以来かかりつけ医講習会の講師を務めています。

2 初期診断

物忘れ外来という形で差別化せず、通常の初診受け入れの中で対応します。

- ① 最近では認知症以外の疾患で通っている人が高齢化し、認知症治療を始めるケースも多くなっています。
- ② 血液検査、頭部 CT、心理検査は当院で実施します。より詳しい検査が必要なケースは認知症疾患医療センター（日本海総合病院）へ紹介しますが、通常 2 回の受診で当院へ戻り、外来治療を継続します。
- ③ 他の疾患についてもスムーズな連携（例えば正常圧水頭症なら日本海総合病院神経内科、硬膜下血腫や脳腫瘍は同院脳神経外科）を実現しています。経過観察については当院で引き受け、外来治療を継続します。
- ④ 日本海ヘルスケアネットの強みを活かし、認知症疾患医療センター（SPECT あり）でのトレーニング環境を用意しています。

3 BPSD 治療

エビデンスの少ない BPSD に対する薬物療法について豊富な実績があり、実地で学ぶことが可能です。

- ① まさに最後の砦として、困難ケースであろうと積極的に引き受けています。
- ② BPSD は一時期だけ激しいという患者も多く、社会から疎外されて行き場のない人を作らないという信念のもと、どんな社会背景の持ち主であろうと、まずは病状を評価し専門家として治療します。
- ③ DV など虐待については関係機関と積極的に連絡を取り合っています。
- ④ 薬剤を使うなら上手に使いたい。薬物療法の技術があって成り立つ医療といえます。

4 身体疾患の治療

内科外来で認知症者の身体疾患を診ています。

- ① 精神科受診を拒否するケースでも諦めず関わり方を探り、積極的に内科につないでいます。
- ② 入院治療においては本人・家族から転院希望がない限り、身体合併症病棟で看取りまでおこなっています。
- ③ 大抵の患者に対応しており、治療を投げ出しません。
当院で最期を迎えたいという人にも付き合います。

5 認知症治療病棟

多職種による医療を実現しています。

- ① 病棟での専門的な訓練を続けることで回復が続くケースは多くなっています。
- ② 入院中に ADL、身体機能、認知機能を可能な限り維持し、BPSD がいったん改善すれば向精神薬を減量するよう意識しています。
- ③ 退院先がない中、期限を切って無理に退院を促すことはせず、行き先が見つかるまで付き合います。

6 家族支援

認知症の方の家族への支援を積極的に行なっています。

- ① 高齢者同士、あるいは認知症者同士が支え合ってなんとか生活してきたケースもあり、家族の健康状態・生活状況にも気を配ります。
- ② 介護のストレスから家族がうつ病にかかったり、DVの当事者となってしまうことがあり、それらの抑止あるいは解決を目指します。
- ③ 家族に健康を回復してもらい、正しい知識を持っていただくことで、地域の力の底上げに貢献します。

7 新施設の立ち上げ

新しい施設で新しい医療・福祉連携を目指します。

- ④ 病棟とのスムーズな連携を目指して、有料老人ホームと看護小規模多機能を令和2年4月にオープンする予定です。

8 併存する精神疾患を含めた治療戦略の立案

うつ病、せん妄で認知症が疑われるケース等では治療戦略の立て方が成功の鍵です。

- ④ 具体的に何から介入するか、その戦略をスタッフと共有し、家族に説明するノウハウが学べます。
- ④ うつ病のほかに双極性障害、アルコール依存症、発達障害、不安障害などが併存するケースについても、具体的な方針のもと、治療経験を積むことができます。

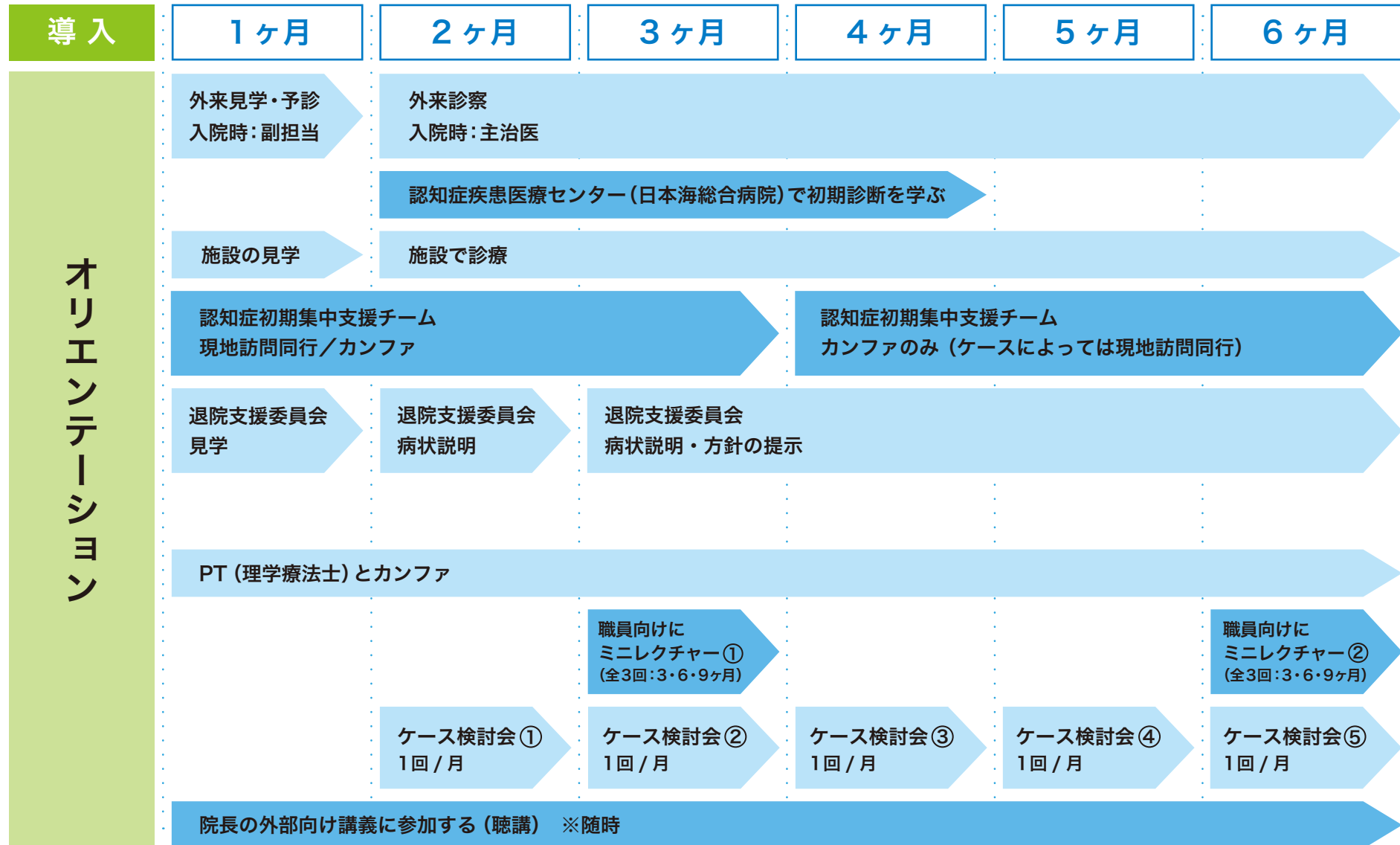
9 総合病院に赴いての診療

待つのではなくこちらから攻めていく積極的な関わりを一緒に体験できます。

- ① 車で 10 分の場所にある本間病院へ院長が毎月赴いて病棟で診療しています。
- ② 本間病院にはさまざまな患者がおり、うつ病、せん妄、認知症について短時間で効率的に診察、判断するスキルを磨くことができます。
- ③ 治療継続不要なケースからすぐ転院調整を始めるべきケースまでその場でトリアージする経験を積むことで判断力が伸びます。
- ④ 精神科病院には出会わない、透析患者の精神疾患を経験できます。

認知症臨床プログラムのスケジュール

① 1ヶ月～6ヶ月



認知症臨床プログラムのスケジュール

② 7ヶ月～12ヶ月

